取扱説明書

液晶カラーモニター

形名 LL-152TR

もくじ

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※ TFTカラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。
残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。
※ 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
※ コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
※ 本機は付属品も含め日本国内(AC100V)用です。海外では使えません。

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。
そのようなときは、次の点にご注意ください。
※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
なお、詳しくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について

※ 本書では、Microsoft Windows XP Home EditionとMicrosoft Windows XP Professionalを「Windows XP」、Microsoft Windows 2000を「Windows 2000」、Microsoft Windows Millennium Editionを「Windows Me」、Microsoft Windows 98を「Windows 98」、Microsoft Windows 95を「Windows 95」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記しています。
※ Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
※ そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
※ 本書で記載されている画面表示のイラストは、実際の画面表示とは多少異なることがあります。

お願い

※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
※ お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
※ 付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

図記号について　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味　（図記号の一例です。）

 記号は、**気を付ける**必要があることを表しています。

 記号は、**してはいけない**ことを表しています。

 記号は、**しなければならない**ことを表しています。

警 告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。
電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

雷が鳴り始めたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の原因になります。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。
異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因になります。

水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。
火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

警 告

アース接続をしてください。アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
また、アースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。順番が異なると感電の原因となります。

注 意

ACアダプターおよび電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

ACアダプターの取り扱いにあたっては、次のことをお守りください。取り扱いを誤ると、火災や感電、けがの原因になることがあります。

- 落下させたり、衝撃を与えないでください。
- 絶対に分解しないでください。内部には高圧部分があり、触ると危険です。
- ACアダプターは屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 付属のACアダプターは他の機器に使用しないでください。

⚠注意

電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になることがあります。

火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 夜間や旅行などで長時間使用しないときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みが緩く電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。
発熱や発火の原因になることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。

あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。密閉した箱に入れたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしないでください。
通風孔をふさぐと、熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。

⚠注意

表示部分を強く押したり、先のとがった物で押したりしないでください。表示部分に力が加わると、タッチパネルや液晶パネルの破損や故障、けがの原因になることがあります。

改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になることがあります。

健康のために、次のことをお守りください。

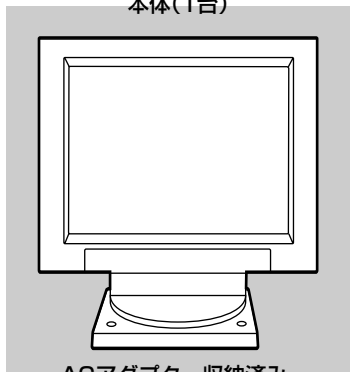
- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

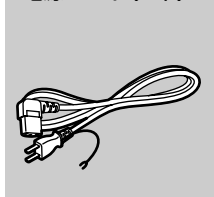
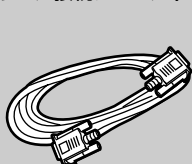
移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

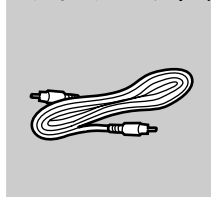
通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください。内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店に依頼してください。
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火、故障の原因になることがあります。
(内部の清掃費用については、お買いあげの販売店にご相談ください。)

付属品の確認

箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

本体(1台)

ACアダプター収納済み
アナログ信号ケーブル接続済み

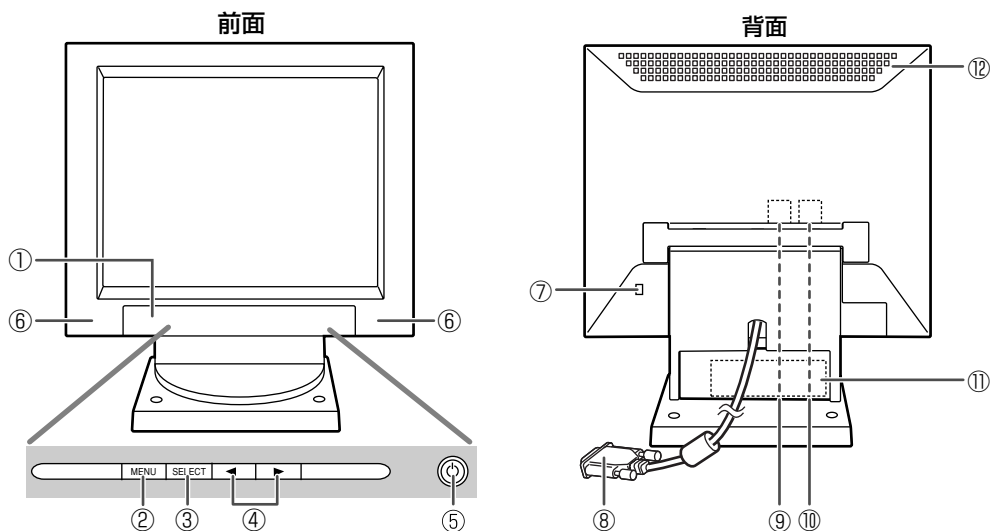
電源コード(1本)

シリアル接続ケーブル(1本)

(両端D-sub9ピン・ストレート)

オーディオケーブル(1本)

CD-ROM(1枚)

アプリケーションディスク
(ユーティリティー/タッチパネルドライバ)

- 取扱説明書(1部)
- 保証書(1部)

※ 梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。
※ タッチパネルドライバは、富士通コンポーネント株式会社開発のマウスエミュレーションソフトウェアです。
　タッチパネルドライバの著作権は、富士通コンポーネント株式会社に帰属します。
※ この製品は日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書はありません。
　This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

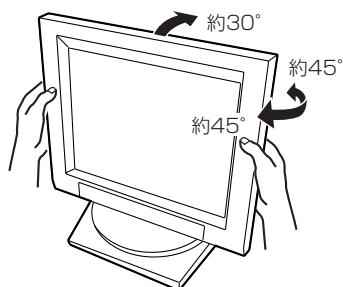
各部の名前とはたらき

① 操作ボタンカバー .... 操作ボタンを使うときは外してください。
② MENUボタン .... 調整メニューの表示、切り換え、消去を行います。
③ SELECTボタン .... 調整メニューが表示されているとき、調整項目の選択に使います。
④ ◀ ▶ ボタン .... 調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。
調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさやスピーカーの音量を調整します。（13ページ）
⑤ 電源ボタン（ ⏻ ）／ランプ ... 電源の入／切を行います。
通常表示時はボタンの周囲が緑色に、待機時はオレンジ色に点灯します。
⑥ スピーカー......................... 本機と接続している外部機器から入る音声を聞くことができます。
⑦ 盗難防止ホール（ K ）....... 市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。盗難防止ホールは、Kensington社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
⑧ アナログ信号ケーブル ..... コンピュータのアナログRGB出力端子と接続します。
⑨ 音声入力端子 .... カバーの下に音声入力端子があります。付属のオーディオケーブルを使って、コンピュータの音声出力端子と接続します。
⑩ シリアル端子 ....（タッチパネル用） カバーの下にシリアル端子があります。付属のシリアル接続ケーブルを使って、コンピュータのシリアル端子と接続します。
⑪ AC アダプター .... スタンドの中にAC アダプターが収納されています。
⑫ 通風孔................................. 機器内部の熱を放出するためのものです。
※ 通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

■操作ボタンカバーの外し方

下図の○印付近を強く押さえながら、下げてください。

■角度調整

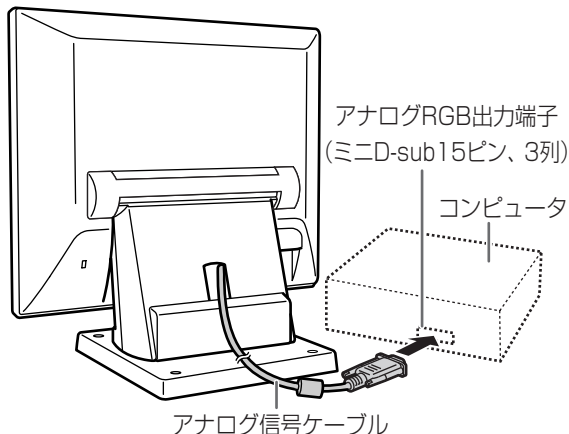
※ ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。表示部分に手を当てて力を加えると、タッチパネルや液晶パネルの破損の原因になります。

接続・電源入／切

! ご注意

※ 接続は、本機およびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。

※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

コンピュータの接続

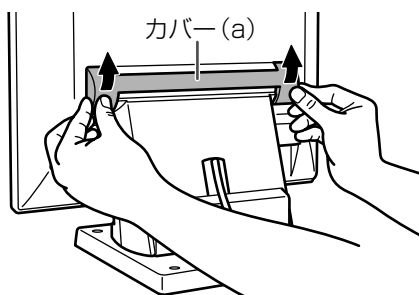
アナログ信号ケーブルをコンピュータのアナログRGB出力端子と接続します。

※ 端子の向きを確かめて奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

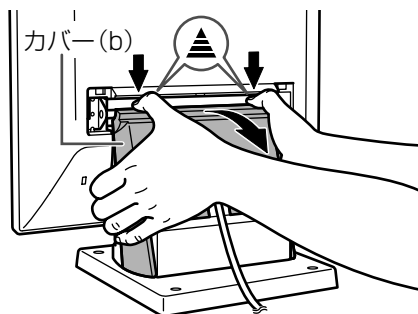
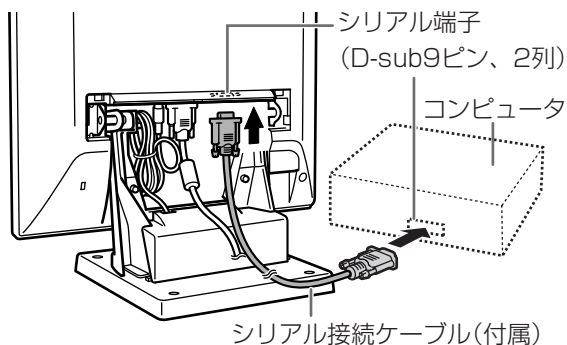
シリアル接続ケーブルの接続（タッチパネル用）

タッチパネルを使用する場合は、シリアル接続ケーブル（付属）を使ってコンピュータのシリアル端子と接続します。

1. 電源コードが接続されている場合は、電源コードを取り外す。

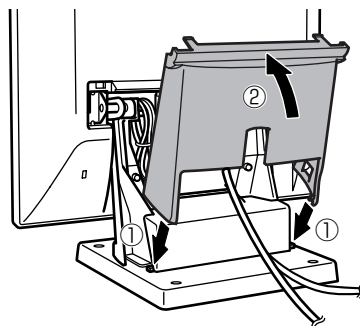
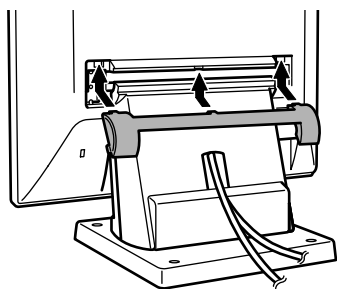
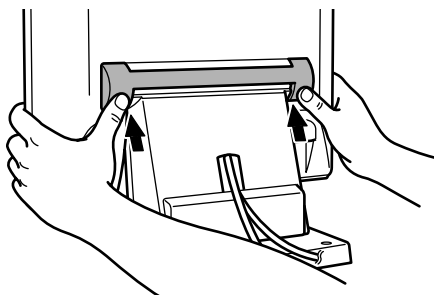
2. 背面のカバー(a)を外す。

カバー両側の下のほうを持ち、ゆっくりとやや上向きに引きます。

3. カバー(b)を外す。

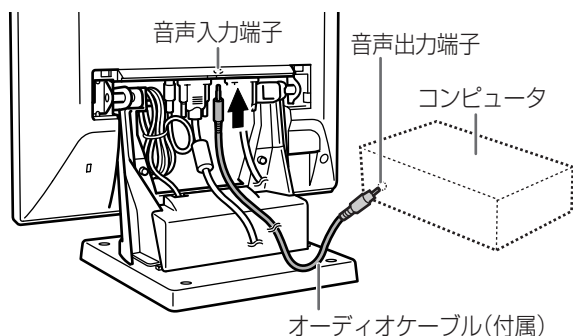
カバー上部の両側の ▲ 位置を押さえながら、上部をゆっくりと手前に引きます。

4. シリアル接続ケーブルを本機とコンピュータのシリアル端子に接続する。

※ 端子の向きを確かめて奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

5. カバー(b)を取り付ける。

1）カバーの開口部にケーブルを通して、カバー下部の両側のツメを突起部に差し込みます。

2）カバー上部の両側のツメが差し込まれるまで、上部をゆっくりと押さえます。

6. カバー(a)を取り付ける。
   1)上部の3箇所のツメを穴に入れます。

   2)カバー両側をゆっくりと押し込みます。

オーディオケーブルの接続

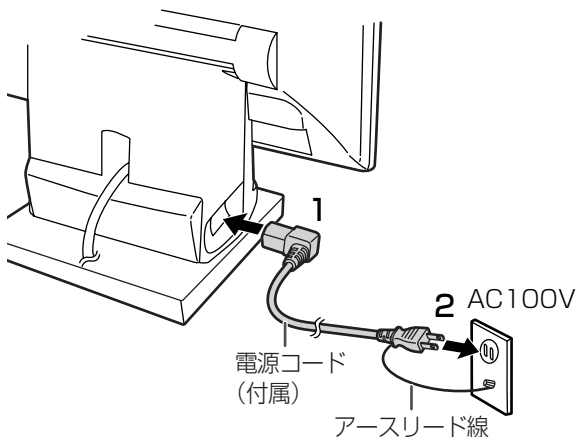
オーディオケーブル(付属)を使って、コンピュータの音声出力端子と接続します。

1. **背面のカバーを外す。**
   7ページ「シリアル接続ケーブルの接続(タッチパネル用)」の手順1～3をご覧ください。
2. **オーディオケーブルを本機とコンピュータの音声端子に接続する。**

3. **背面のカバーを取り付ける。**
   7～8ページ「シリアル接続ケーブルの接続(タッチパネル用)」の手順5～6をご覧ください。

電源の接続

注意 **電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。**指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源コードとACアダプター(スタンドに収納済み)は、必ず付属のものを使用してください。

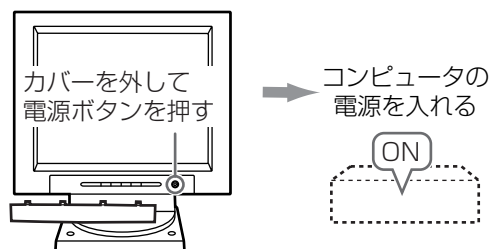
1. **電源コード(付属)をACアダプターに差し込む。**
2. **電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込む。**

⚠ 警告 **アースを接続してください。**アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。
  順番が異なると感電の原因となります。

電源の入れ方

1. 本機の電源ボタン(⏻)を押す。

2. コンピュータの電源を入れる。

本機の電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。

※ 電源を入れた後、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

! ご注意

※ 電源切／入は、必ず約5秒以上の間隔を空けてください。急に電源を入れると、故障や誤動作の原因になります。

? Memo

※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整(14ページ)を行ってください。

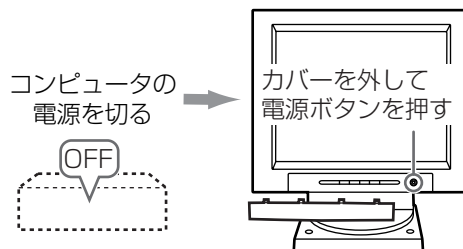
※ 接続先のコンピュータにセットアップ情報・ICCプロファイルをインストールする場合は、CD-ROM(付属)のReadmeJをご覧ください。

※ ノートパソコンと接続して、ノートパソコンの画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機のみの表示となるように設定してください。

電源の切り方

1. コンピュータの電源を切る。

2. 本機の電源ボタン(⏻)を押す。

電源ランプが消灯します。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

? Memo

※ コンピュータの電源が「入」で、本機の電源コードがコンセントに差し込まれている場合、電源ボタンを押して電源を切ってもタッチパネルは動作します。

タッチパネルの使用準備

タッチパネルドライバのインストール

(対応OS：Windows 95/98/Me/2000/XP)

タッチパネルを正しくお使いになるために、CD-ROM(付属)内に格納されているTouchPanel¥Readme.txtも併せてお読みください。
マルチモニター環境でご使用になる場合の設定方法は、CD-ROM(付属)内に格納されているTouchPanel¥Readme.txtをお読みください。

※ 本タッチパネルドライバは仮想COMポートで通信するUSBシリアル変換ケーブルなどでご利用はできません。
※ タッチパネルドライバを正しく動作させるためには、Internet Explorer4.0以上がインストールされていることが必要です。Internet Explorer4.0以上をインストールしてから、タッチパネルドライバをインストールしてください。
※ タッチパネルを接続するコンピュータのシリアル端子を変更する場合は、必ずコンピュータの電源を切った状態で行ってください。
※ Windows 2000/XP用タッチパネルドライバでは、ログイン前や「Ctrl＋Alt＋Delete」後など、アプリケーションが動作しない状態ではタッチ操作を行うことができない場合があります。

Windows XPの場合

1. CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブにセットする。
2. CD-ROM内の「TouchPanel¥SetUp.exe」をダブルクリックする。
3. 「1,Non Plug and Play Device」を選び、「OK」をクリックする。
   インストールが始まります。インストールが正常に終了するとメッセージが表示されます。
4. 「OK」をクリックする。
   「タッチパネル」の設定画面が表示されます。COMの初期設定はCOM1で設定されています。
5. ポート設定の変更が必要ない場合は、「OK」をクリックする。
   ポート設定を変更する場合は、11ページ「タッチパネルのポート設定を変更する場合」に記載の手順でポート設定の変更を行ってから、「OK」をクリックします。
6. 「再起動しますか？」のメッセージが表示されたら、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブから取り出す。
7. 「はい」をクリックして、システムを再起動する。

Windows 2000の場合

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
2. 「ユーザー補助のオプション」をダブルクリックする。
3. 「マウス」をクリックする。
4. 「マウスキー機能を使う」にチェックを付け、「OK」をクリックする。
5. CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブにセットする。
6. CD-ROM内の「TouchPanel¥SetUp.exe」をダブルクリックする。
7. 「1,Non Plug and Play Device」を選び、「OK」をクリックする。
   インストールが始まります。インストールが正常に終了するとメッセージが表示されます。
8. 「OK」をクリックする。
   タッチパネルの設定画面が表示されます。COMの初期設定はCOM1で設定されています。
9. ポート設定の変更が必要ない場合は、「OK」をクリックする。
   ポート設定を変更する場合は、11ページ「タッチパネルのポート設定を変更する場合」に記載の手順でポート設定の変更を行ってから、「OK」をクリックします。
10. 「再起動しますか？」のメッセージが表示されたら、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブから取り出す。
11. 「はい」をクリックして、システムを再起動する。

Windows 98/Meの場合

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
2. 「システム」をダブルクリックする。
3. 「デバイスマネージャ」をクリックする。
4. 「ポート(COM/LPT)」をダブルクリックする。
   システムに搭載されているポートが表示されます。Windows Meの場合は、「ポート(COMとLPT)」をダブルクリックします。
5. タッチパネルを接続する通信ポートをダブルクリックする。
6. 「デバイスの使用」で「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」をチェックする。
7. 「OK」をクリックする。
8. システムを再起動する。
9. CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブにセットする。
10. CD-ROM内の「TouchPanel¥SetUp.exe」をダブルクリックする。

11. 「1,Non Plug and Play Device」を選び、「OK」をクリックする。
12. 「デバイスドライバ(推奨)」を選び、「OK」をクリックする。
13. 「プライマリのインストール」を選び、「OK」をクリックする。
インストールが始まります。インストールが正常に終了するとメッセージが表示されます。
14. 「OK」をクリックする。
「タッチパネルの設定」画面が表示されます。COMの初期設定はCOM1、I/Oアドレスは3f8h、IRQは4で設定されています。
15. ポート設定の変更が必要ない場合は、「OK」をクリックする。
ポート設定を変更する場合は、右記「タッチパネルのポート設定を変更する場合」に記載の手順でポート設定の変更を行ってから、「OK」をクリックします。
16. 「再起動しますか？」のメッセージが表示されたら、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブから取り出す。
17. 「はい」をクリックして、システムを再起動する。

※ お使いのコンピュータによっては、通信ポートを使用不可設定にすると、タッチパネルの通信も不可となる場合があります。この場合は、1～8の設定を行わないでください。
※ お使いのコンピュータによっては、「デバイスドライバ(推奨)」が正しく動作しない場合があります。この場合は、上記手順でインストールした「デバイスドライバ(推奨)」を削除した後、「ユーザーモードドライバ」をインストールしてください。「ユーザーモードドライバ」をインストールするときは、手順12で「ユーザーモードドライバ」を選んでください。
(このとき、手順13は不要です。)

Windows 95の場合

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
2. 「システム」をダブルクリックする。
3. 「デバイスマネージャ」をクリックする。
4. 「ポート(COM&LPT)」をダブルクリックする。
システムに搭載されているポートが表示されます。
5. タッチパネルを接続する通信ポートをダブルクリックする。
6. 「デバイスの使用」で「このハードウェア環境で使用不可にする」をチェックする。
7. 「OK」をクリックする。
8. システムを再起動する。
9. CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブにセットする。
10. CD-ROM内の「TouchPanel¥SetUp.exe」をダブルクリックする。
11. 「1,Non Plug and Play Device」を選び、「OK」をクリックする。
12. 「プライマリのインストール」を選び、「OK」をクリックする。
インストールが始まります。インストールが正常に終了するとメッセージが表示されます。
13. 「OK」をクリックする。
「タッチパネルの設定」画面が表示されます。COMの初期設定はCOM1、I/Oアドレスは3f8h、IRQは4で設定されています。
14. ポート設定の変更が必要ない場合は、「OK」をクリックする。
ポート設定を変更する場合は、下記「タッチパネルのポート設定を変更する場合」に記載の手順でポート設定の変更を行ってから、「OK」をクリックします。
15. 「再起動しますか？」のメッセージが表示されたら、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブから取り出す。
16. 「はい」をクリックして、システムを再起動する。

■タッチパネルのポート設定を変更する場合

Windows 2000/XPの場合
Windows 98/Me(ユーザーモードドライバ)の場合

1. 「タッチパネルの設定」画面で、「現在のポート」からCOM1を選ぶ。
2. 「削除<=」をクリックする。
3. 接続されているCOMポートを選ぶ。
4. 「=>追加」をクリックする。

Windows 95/98/Meの場合

1. 「タッチパネルの設定」画面で、「現在のポート」からCOM1を選ぶ。
2. 「削除<=」をクリックする。
3. COM、I/O、IRQのエディットボックスに接続されているポートの設定値を入力する。
4. 「=>追加」をクリックする。

■タッチパネルドライバの削除

? Memo

※ Windows XPで複数のユーザーがログインしているときはドライバを削除しないでください。
※ Windows 95/98/Meで、セカンダリのタッチパネルドライバをインストールしている場合は、セカンダリから先に削除してください。

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
   Windows XPの場合は、「スタート」ボタンをクリックし「コントロールパネル」を選びます。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする。
   Windows XPの場合は、「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。
3. 下記ファイルを選ぶ。
   Windows 95/98/Meでプライマリの場合
   「Fujitsu Touch Panel (Serial)」
   Windows 95/98/Meでセカンダリの場合
   「Fujitsu Secondary Touch Panel (Serial)」
   Windows 98/Me(ユーザーモードドライバ)の場合
   「Fujitsu Touch Panel Service (COMM)」
   Windows 2000/XPの場合
   「Fujitsu Touch Panel Service (COMM)」
4. 「追加と削除」(Windows 2000/XPの場合は、「変更と削除」)をクリックする。
5. 「はい」をクリックする。
   ドライバの削除が始まります。ドライバが削除された後、「再起動しますか？」のメッセージが表示されます。
6. 「はい」をクリックする。

■タッチパネルの設定

※ タッチパネルドライバをインストールすると、コントロールパネルに「タッチパネル」が登録されます。「タッチパネル」をダブルクリックすると、タッチパネルの詳細な設定を行うことができます。
※ タッチパネルの設定方法について詳しくは、CD-ROM(付属)内の「TouchPanel¥Serial RTP driver manual.pdf」を参照してください。
(本機は、Windows 95/98/Me/2000/XP用のNonPNPタッチパネルで、PNPタッチパネルには対応していません。該当する箇所をお読みください。)

タッチパネルの操作について

タッチパネルは、指先で操作してください。
※ 爪、ペン、鉛筆などの硬いものや鋭利なもので操作しないでください。

? Memo

※ 指以外の柔らかいものが触れても動作することがあります。
※ 接触面積が大きい場合(手のひらで押すなど)、正しく操作できないことがあります。
※ コンピュータがシステムスタンバイ状態のときに、タッチパネルを押しても復帰できない場合があります。その場合は、マウスやキーボードをご使用ください。

画面・スピーカー音量の調整

? Memo

※ 調整内容は、電源を切っても保持されます。

■調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を切る。

2. MENUボタンとSELECTボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。

画面に「オールリセット中」と表示されるまで押し続けてください。メッセージの表示が消えると、リセットは完了です。

? Memo

※「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。

※ 調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■画面調整メニューのリセット

画面調整メニュー(クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置)の調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を入れる。

2. MENUボタンと ◀ ボタンの両方を押す。

画面に「リセット中」と表示されて、リセットが完了します。

? Memo

※「リセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。

※ 調整ロックが設定されている場合、リセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■調整ロック機能

電源ボタン以外の操作ボタンを効かなくして(ロック設定)、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. 本機の電源を切る。

2. MENUボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。

画面に「調整ロックを設定しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。

3. ▶ ボタンを押す。

調整ロックの解除

1. 本機の電源を切る。

2. MENUボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。

画面に「調整ロックを解除しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。

3. ▶ ボタンを押す。

バックライトの明るさ調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す。

2. SELECTボタンで「明るさ」を選択する。

3. ◀ ボタン(暗くする)、 ▶ ボタン(明るくする)を押して調整する。

調整用の画面は、最後のボタン操作から数秒後、自動的に消えます。

スピーカーの音量調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す。

2. SELECTボタンで「音量」を選択する。

3. ◀ ボタン(小さくする)、 ▶ ボタン(大きくする)を押して調整する。

調整用の画面は、最後のボタン操作から数秒後、自動的に消えます。

画面の調整

画面の自動調整

画面調整メニューのクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。

? Memo

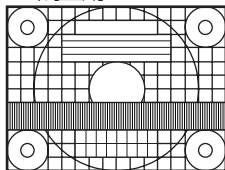
※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。

■調整のための画面表示について

画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、あらかじめCD-ROM(付属)内の調整用パターンを表示してください。

調整用パターンの呼び出し方

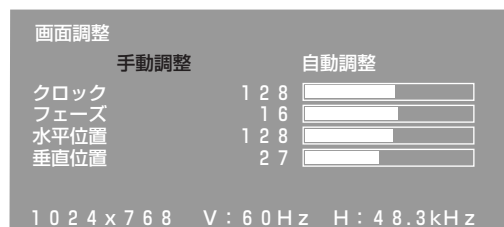
1. **CD-ROM(付属)をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。**
2. **「マイコンピュータ」のCD-ROMを開く。**
3. **「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。**
   調整用パターンが表示されます。

<調整用パターン>

4. **調整が終わったら、コンピュータの[Esc]キーを押して、調整用プログラムを終了する。**

? Memo

※ 使用するコンピュータの表示モードが6万5千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

■自動調整のしかた

1. **MENUボタンを押す。**
   画面調整メニューが表示されます。

2. **▶ ボタンを押して、「自動調整」を選択する。**
   画面が黒くなり、「自動調整中」と表示され、数秒後に画面調整メニューに戻ります。
   (これで自動調整は完了です。)
3. **MENUボタンを4回押して、調整メニューを消す。**

? Memo

※ 通常は、自動調整だけでご使用いただけます。

※1回の自動調整では、正しく調整できないことがあります。その場合は、自動調整を2～3回繰り返してみてください。

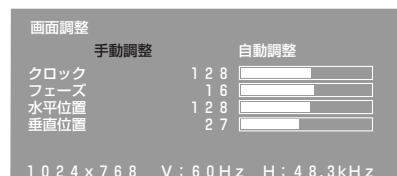
※ 自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整を行ってください。(15ページ)

- さらに微調整が必要なとき
- 「自動調整できませんでした」と表示されたとき(表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。自動調整をする場合は、調整用パターンを利用してください。)
- コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときなど(自動調整では正しく調整できないことがあります。)

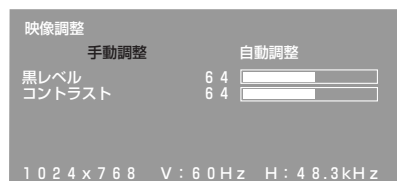
※ 動画やMS-DOSプロンプトなど、画面によっては自動調整が正しく行われないことがあります。

画面の手動調整

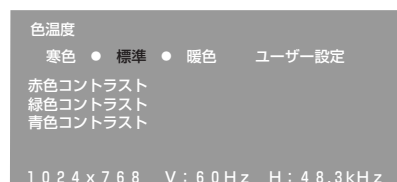
1. **画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、調整用パターンを表示する。**（14ページ）
2. **MENUボタンを押して、調整メニューを表示する。**

画面調整メニュー

SELECTボタンで調整項目を選びます。

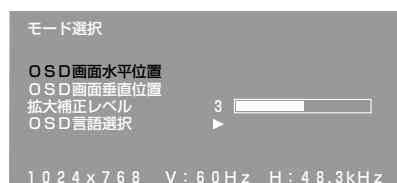
↓ MENUボタン

映像調整メニュー

SELECTボタンで調整項目を選びます。

↓ MENUボタン

色温度メニュー

◀または▶ボタンで項目を選びます。

↓ MENUボタン

モード選択メニュー

SELECTボタンで調整項目を選びます。

↓ MENUボタン

調整メニュー終了

? Memo

※ 調整メニューは、最後のボタン操作から約30秒後、自動的に消えます。

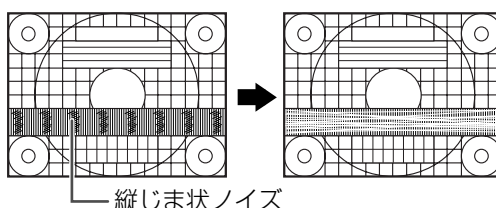
※ 本書では、調整用パターンを利用した調整のしかたを基本に説明します。

■画面調整メニュー

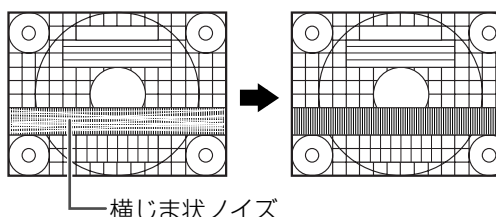
自動調整

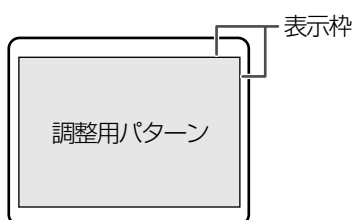
▶ボタンで選択すると、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」が自動的に調整されます。

クロック

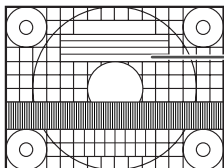
調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように◀または▶ボタンで調整します。

フェーズ(位相)

調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように◀または▶ボタンで調整します。

※「フェーズ」の調整は、必ず「クロック」を正しく調整した後で行ってください。

水平位置、垂直位置

調整用パターンの全体が画面内に表示されるように、左右(水平位置)、上下(垂直位置)の位置を◀または▶ボタンで調整します。

■映像調整メニュー

自動調整
▶ ボタンで選択すると、「黒レベル」「コントラスト」が自動的に調整されます。自動調整後、必要に応じて手動調整してください。

黒レベル
カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを ◀ または ▶ ボタンで調整します。

コントラスト
カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように ◀ または ▶ ボタンで調整します。

? Memo

自動調整(オートゲインコントロール機能)について
※ 画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に調整します。
※ 調整用パターンを利用しないときは、5mm×5mm以上の白い部分と黒い部分がある画像を表示してください。表示がない場合は正しく調整できないことがあります。
※ コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときは、自動調整ができないことがあります。その場合は、手動で調整してください。
※「自動調整できませんでした」と表示されたときは、手動調整を行ってください。

■色温度メニュー

寒色 .... 標準設定よりも青みがかった色合い
● .... 標準設定よりもやや青みがかった色合い
標準 .... 標準設定
● .... 標準設定よりもやや赤みがかった色合い
暖色 .... 標準設定よりも赤みがかった色合い
ユーザー設定
「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」の設定値が表示され、微調整ができます。
SELECTボタンで「赤色コントラスト」「緑色コントラスト」「青色コントラスト」を選んで調整します。
赤色コントラスト .... ◀ ボタンで青緑色、▶ ボタンで赤色
緑色コントラスト .... ◀ ボタンで紫色、▶ ボタンで緑色
青色コントラスト .... ◀ ボタンで黄色、▶ ボタンで青色

? Memo

※「標準」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「標準」に設定してください。

■モード選択メニュー

? Memo

※ 入力信号の解像度によっては、項目の選択ができても、表示状態が変わらないことがあります。

OSD画面水平位置

調整メニューの表示位置を ◀ または ▶ ボタンで左右に動かします。

OSD画面垂直位置

調整メニューの表示位置を ◀ または ▶ ボタンで上下に動かします。

拡大補正レベル

拡大表示の画像のシャープさを ◀ または ▶ ボタンで調整します。

※ 解像度1024×768ドット未満の画面を表示させた場合、画面全体に拡大表示されます。
(アスペクト比(縦横比)が変わることがあります。)

OSD言語選択

調整メニューの言語を変更することができます。

① 「OSD言語選択」を選択して、▶ ボタンを押す。
言語選択メニューが表示されます。
② SELECTボタンで言語を選択する。
③ MENUボタンを押す。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

! ご注意

※ シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。
※ 硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

■表示部分

表示部分の表面の汚れやほこりは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）

? Memo

※ 本機に使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルにご協力ください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

! ご注意

※ ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

リサイクルについて

使用済み液晶モニターを有益な資源として再利用するためリサイクルにご協力ください。
リサイクルについては、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/recycle/business.html

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

※ 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります（故障ではありません）。
その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない（電源ランプ消灯）

※ 電源コードは正しく接続されていますか。
（8ページ）

画面に何も表示されない（電源ランプ点灯）

※ コンピュータと正しく接続されていますか。
（7ページ）
※ コンピュータの電源は入っていますか。
※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（22ページ）
※ コンピュータの省電力機能が動作していませんか。
キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてみてください。

操作ボタンが効かない

※ 調整ロックが設定されていませんか。（13ページ）

画面が乱れている

※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。(22ページ)
※ 画面自動調整を行ってください。(14ページ)
※ お使いのコンピュータで垂直周波数(リフレッシュレート)が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。(22ページ)

音が聞こえない

※ オーディオケーブルは正しく接続されていますか。(8ページ)
※ 音量調整を行ってください。(13ページ)
※ 本機が待機状態(電源ランプがオレンジ色)になっているときは、スピーカーの音は鳴りません。

タッチパネルで入力できない

※ シリアル接続ケーブルが正しく接続されていますか。(7ページ)
※ タッチパネルドライバがインストールされていますか。(10ページ)
※ 接触面積が大きい場合(手のひらで押した場合など)、正しく入力できないことがあります。
※ コンピュータがシステムスタンバイ状態のときは、タッチパネルを押しても復帰できない場合があります。その場合は、マウスやキーボードをお使いください。

アフターサービスについて

■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から1年間です。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■有寿命部品について

本製品の通常の使用において、製品の使用環境(温湿度など)や使用頻度、経過時間等により、劣化／磨耗が進行し、寿命が著しく短くなる可能性のある部品があります。これを「有寿命部品」と呼びます。
本製品には、下記の有寿命部品が含まれています。
ご使用状態によっては早期に部品交換(有料)が必要となる場合があります。

有寿命部品

バックライト、タッチパネル
※ 部品によっては、ユニット単位の交換になる場合があります。

■修理を依頼されるときは

先に「故障かな?と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にこの製品を「お持ち込み」のうえ、修理をお申し付けください。
ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内(次ページ)

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記のご相談窓口へご連絡ください。電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2006年11月現在)

修理ご相談窓口

シャープドキュメントシステム株式会社

＜全国共通＞	IP電話・PHSからは…	＜受付時間＞
0570-00-5008	03-3810-8604(東日本)	月曜～土曜：午前9時～午後5時40分
(沖縄・奄美地区を除く)	06-6794-9676(西日本)	(日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

北海道 札幌技術センター (011)641-0751
〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17
函館 (0138)52-5190
〒040-0001 函館市五稜郭町31-17
帯広 (0155)21-2881
〒080-0011 帯広市西1条南26-19-1
旭川技術センター (0166)22-8284
〒070-0031 旭川市一条通4-左10

青森 青森技術センター (017)738-7778
〒030-0121 青森市妙見3-3-4
八戸 (0178)45-2631
〒031-0802 八戸市小中野2-8-16

岩手 岩手技術センター (019)638-6085
〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1

秋田 秋田技術センター (018)865-1258
〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-56

宮城 仙台技術センター (022)288-9161
〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27

福島 福島技術センター (024)946-0196
〒963-0111 郡山市安積町荒井字方八丁33-1
いわき (0246)28-2487
〒970-8033 いわき市自由ケ丘37-10

新潟 新潟技術センター (025)284-6023
〒950-0993 新潟市上所中1-7-21
長岡 (0258)23-1850
〒940-1104 長岡市摂田屋町字崩2600

栃木 宇都宮技術センター (028)634-0256
〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41

群馬 前橋技術センター (027)252-7311
〒371-0855 前橋市問屋町1-3-7

茨城 水戸技術センター (029)243-0909
〒310-0851 水戸市千波町1963

埼玉 埼玉技術センター (048)666-7148
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-107-2
埼玉西技術センター (049)285-7294
〒350-2211 鶴ヶ島市脚折町3-14-20
埼玉東技術センター (048)979-6459
〒343-0804 越谷市南荻島346-1

千葉 千葉技術センター (043)299-8855
〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2
西千葉技術センター (047)368-8346
〒270-2231 松戸市稔台295-1

東京 東京技術センター (03)3829-6951
〒130-8610 東京都墨田区石原2-12-3
中央技術センター (03)3260-5253
〒162-8408 東京都新宿区市谷八幡町8
北東京技術センター (03)3973-7789
〒174-0074 東京都板橋区東新町1-33-11
南東京技術センター (03)3777-0850
〒143-0025 東京都大田区南馬込1-5-15
東京フィールドサポートセンター (03)3810-8600
〒114-0012 東京都北区田端新町2-2-12
ソリューションシステム技術部
サポートセンター (03)3624-7476
〒130-8610 東京都墨田区石原2-12-3
西東京技術センター (042)583-1993
〒191-0003 日野市日野台5-5-4

山梨 山梨 (055)228-3833
〒400-0049 甲府市富竹2-1-17

神奈川 横浜技術センター (045)753-9540
〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23
相模原技術センター (042)750-1819
〒229-1122 相模原市横山2-2-12

長野 長野技術センター (026)293-6360
〒388-8014 長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
松本 (0263)27-1636
〒399-0002 松本市芳野8-14

富山 富山技術センター (076)451-3933
〒930-0997 富山市新庄北町5-63

石川 金沢技術センター (076)249-9033
〒921-8801 石川郡野々市町御経塚4-103

福井 福井 (0776)53-6050
〒918-8206 福井市北四ツ居町625

岐阜 岐阜技術センター (058)274-7996
〒500-8358 岐阜市六条南3-12-9

静岡 静岡技術センター (0543)44-5621
〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1
沼津 (0559)24-1028
〒410-0062 沼津市宮前町11-4
浜松技術センター (053)465-0735
〒430-0803 浜松市植松町1476-2

愛知 中部第3CSサービス部 (052)332-2748
〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5
名古屋技術センター (052)332-2758
〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5
豊橋技術センター (0532)54-1830
〒440-0086 豊橋市下地町橋口17-1
岡崎 (0564)25-0611
〒444-0065 岡崎市柿田町1-21

三重 三重技術センター (059)231-1573
〒514-0131 津市あのつ台4-6-4

京都 京都技術センター (075)681-9551
〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48

滋賀 滋賀 (077)543-2331
〒520-2151 大津市栗林町11-35

大阪 大阪フィールドサポートセンター (06)6794-9671
〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
ソリューションシステム技術部 (06)6796-5430
〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
東大阪技術センター (06)6794-6860
〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
大阪技術センター (06)6644-1185
〒556-0003 大阪市浪速区恵美須西1-2-9
堺技術センター (072)245-5855
〒590-0824 堺市堺区老松町1-39

兵庫 神戸技術センター (078)795-6336
〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3-15-2
阪神技術センター (06)6421-2304
〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10
姫路 (0792)66-8295
〒671-2222 姫路市青山5-7-7

奈良 奈良技術センター (0743)53-2023
〒639-1103 大和郡山市美濃庄町492

島根 松江技術センター (0852)21-6110
〒690-0017 松江市西津田3-1-10

鳥取 鳥取 (0857)28-4222
〒680-0942 鳥取市湖山町東4-27-1

岡山 岡山技術センター (086)292-5830
〒701-0301 都窪郡早島町大字矢尾828

広島 広島技術センター (082)874-6100
〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
東広島技術センター (082)428-3065
〒739-0142 東広島市八本松東4-3-30
福山技術センター (084)952-0736
〒720-0841 福山市津之郷町津之郷272-1

山口 山口技術センター (083)972-4525
〒754-0024 山口市小郡若草町4-12

香川 高松技術センター (087)823-4980
〒760-0065 高松市朝日町6-2-8

徳島 徳島 (088)625-8840
〒770-0813 徳島市中常三島町3-11-14

高知 高知 (088)883-7039
〒781-8104 高知市高須1-14-43

愛媛 松山技術センター (089)973-0121
〒791-8036 松山市高岡町178-1

福岡 福岡技術センター (092)572-2617
〒816-0081 福岡市博多区井相田2-12-1
南福岡技術センター (0942)45-4551
〒839-0812 久留米市山川安居野3-12-47
北九州技術センター (093)592-6510
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町6-12

大分 大分技術センター (097)552-2164
〒870-0913 大分市松原町3-5-3

長崎 長崎技術センター (0957)53-3858
〒856-0817 大村市古賀島町613-3

熊本 熊本技術センター (096)237-5353
〒861-3107 上益城郡嘉島町上仲間227-78

鹿児島 鹿児島技術センター (099)259-0628
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町12-1

宮崎 宮崎技術センター (0985)28-8371
〒880-0007 宮崎市原町4-12

沖縄シャープ電機株式会社 ＜受付時間＞月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

沖縄 沖縄シャープ電機(株) (098)861-0866 〒900-0002 那覇市曙2-10-1

シャープ製品に対するご意見・ご要望やお問い合わせは、下記ご相談窓口へ

お客様相談センター（一般ご相談窓口）

シャープ株式会社 ＜受付時間＞※月曜～土曜：午前9時～午後6時 ※日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

フリーダイヤル	※フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…			
0120-303-909	東日本相談室	電話 043-351-1822	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
	西日本相談室	電話 06-6792-1583	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

※FAX送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

仕　様

■製品仕様

機種名
LL-152TR

液晶パネル
15型(対角38cm)　TFTカラー液晶

最大解像度
XGA　1024×768

最大表示色
約1619万色(6ビット+FRC)
※ FRC：Frame Rate Control

画素ピッチ
水平0.297mm×垂直0.297mm

最大輝度
260cd/m² (タッチパネル装着状態 200cd/m²)
※ 画面の輝度は経年により低下します。一定の輝度を維持するものではありません。

コントラスト比
350：1 (タッチパネル装着状態 320：1)

視野角 (コントラスト比≧5)
左右160°／上下135°
(タッチパネル装着状態 左右160°／上下130°)

表示画面サイズ
横304.1mm×縦228.1mm

有効画素の割合
99.9991%以上
※ 本製品の液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素などの無効な画素が存在する場合があります。「有効画素の割合」とは、液晶パネルの全画素数のうち、それらの無効な画素を除いた有効な画素の割合を表しています。無効な画素は液晶パネルの故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

映像入力信号
アナログRGB(0.7Vp-p)[75Ω]

同期入力信号
水平／垂直セパレート(TTL：正／負)、
シンク・オン・グリーン、
コンポジット・シンク(TTL：正／負)

拡大補正
デジタルスケーリング(VGA/SVGAなどをXGAに補正して拡大表示)
※ 全画面への拡大表示のみ。1：1での表示、アスペクト比(縦横比)固定での拡大表示はできません。

プラグ&プレイ
VESA DDC2B対応

パワーマネージメント
VESA DPMS準拠

スピーカー出力
1W+1W

コンピュータ信号入力端子
ミニD-sub15ピン(3列)

音声入力端子
φ3.5mmミニステレオジャック

画面角度調整
チルト：上向きに約0°～30°
スイーベル：左右に約45°

タッチパネル方式
7線式抵抗膜方式

タッチパネル透過率
約80%

タッチパネルPC 接続端子
シリアル端子　D-sub9ピン(2列)

電源
AC100V　50/60Hz(専用ACアダプター使用)

使用温度条件
5℃～35℃

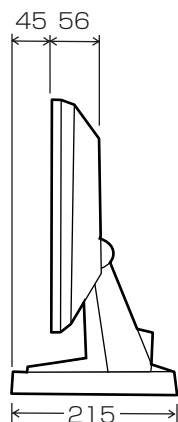
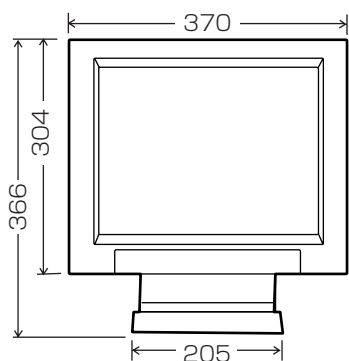
消費電力
21W(音声入力なし)、最大25W、待機時1.7W
(専用ACアダプター使用時)

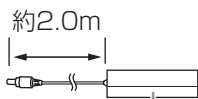
外形寸法
幅約370mm×奥行約215mm×高さ約366mm

質量
約5.2kg(ACアダプター、アナログ信号ケーブル含む)
約3.2kg(ディスプレイ部のみ)

梱包時寸法
幅約470mm×奥行約465mm×高さ約297mm

梱包時質量
約8kg

■外形寸法図(単位mm)

付属ケーブルの長さ

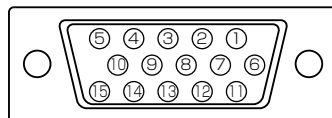
アナログ信号ケーブル　：約2.0m*
(*アナログRGB入力端子からの長さ)
シリアル接続ケーブル　：約2.0m
オーディオケーブル　：約2.0m
電源コード　：約2.0m
専用ACアダプター

幅約125.0mm×奥行約60.0mm×高さ約33.0mm

■対応信号タイミング

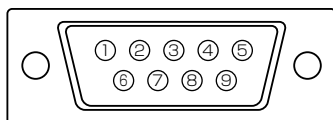
画面解像度		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数
VESA	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz

※ 推奨解像度は、1024×768です。
※ すべてノンインターレースのみの対応です。
※ 接続するコンピュータによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。
※ 本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合、お使いのコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
※ 本機に何も信号(同期信号)が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

■アナログ信号入力端子のピン配列

(ミニD-sub15ピン)

番号	機　能	番号	機　能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■シリアル端子のピン配列

（D-sub9ピン）

番号	機　能	番号	機　能
1	キャリア出力	6	データセット出力
2	送信データ出力	7	送信要求入力
3	受信データ入力	8	送信可能出力
4	データ端末レディ入力	9	未使用
5	GND		

■パワーマネージメント

本機は、VESA DPMSに準拠しています。パワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピュータもこれらの規格に適合している必要があります。

DPMS：Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	25W	あり	あり
STANDBY	無表示	1.7W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

■DDC（プラグ＆プレイ）

本機は、VESAのDDC（Display Data Channel）規格をサポートしています。
DDCとは、モニターとコンピュータのプラグ＆プレイを行うための信号規格です。モニターとコンピュータの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピュータがDDCに対応しており、プラグ＆プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2Bに対応しています。

? Memo

※ タッチパネルは、プラグ＆プレイに対応していません。

VESA規格準拠アームの取り付け方

VESA規格に準拠した市販のアームを取り付けることができます。アームはお客様でご用意ください。

※ 本機に取り付けるアームは、以下の点に注意してお選びください。
- VESA規格に対応し、本機に取り付ける部分のネジ穴間隔が75mm×75mmのもの
- 通風孔をふさがないもの
- 本機を取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの

※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

※ 本書とともに、アームに付属の説明書もよくお読みください。

⚠ 注意 **指をはさんだり、スタンドを落としたりしないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。**

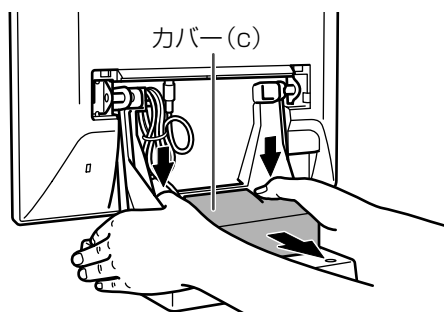
⚠ 注意 **通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、発熱や発火の原因となることがあります。**

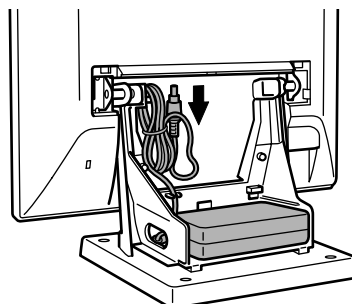
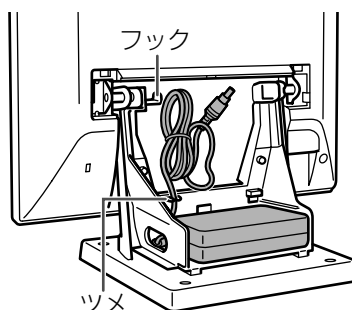
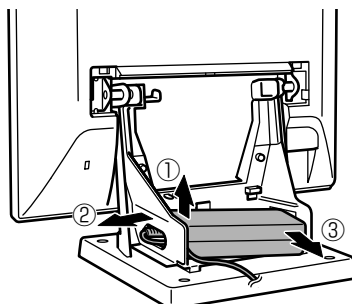
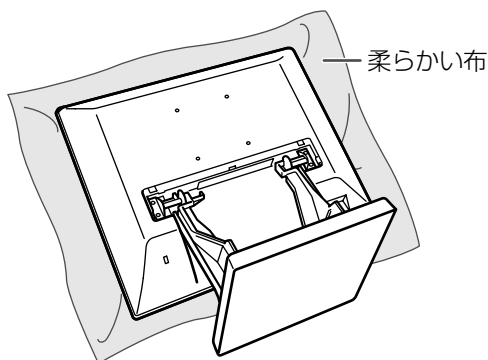
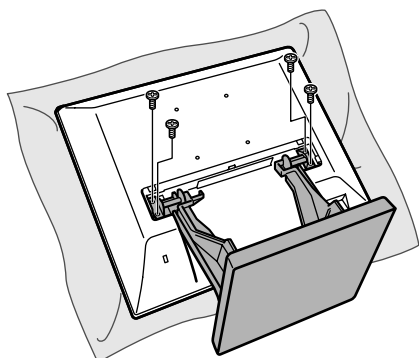
1. 背面のカバーを外す。

7ページ「シリアル接続ケーブルの接続（タッチパネル用）」の手順1～3をご覧ください。

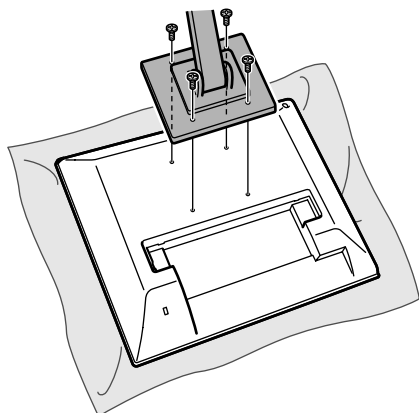
2. アナログ信号ケーブル、シリアル接続ケーブル、オーディオケーブルを取り外す。

3. カバー(c)を外す。

カバー奥の両側を押さえながら、ゆっくりと手前に引きます。

4. ACアダプターをスタンドから取り出す。

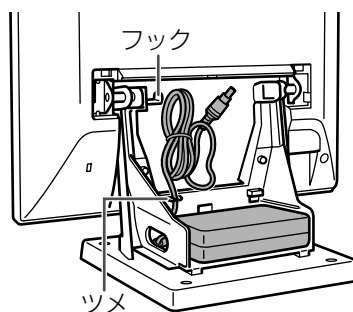
プラグを電源端子から抜きます。

コードをフックとツメから外します。

コードの付根部分を持ち上げながら穴のほうに寄せ、片方をゆっくりと手前に引きます。

5. 柔らかい布などを水平なところに敷き、本機の表示部を下向きにして静かに置く。

6. ネジ(4本)を外して、スタンドを取り外す。

※ スタンドは本機専用です。取り外したスタンドは他の機器で使用しないでください。

※ 取り外したネジは、スタンドとともに保管し、再度スタンドを取り付けるときは、必ず元のネジを使用してください。別のネジを使用すると、故障などの原因になります。

7. アームをネジ(4本)で固定する。

※ 固定用のネジは、アームの取り付け面からの長さが4〜5mmのM4を使用してください。指定以外のネジを使用すると、脱落や、本機内部の破損の原因になります。

Memo

※ 再度スタンドを使用し、ACアダプターをスタンド内に収納するときは、手順4を逆の順に行います。その際、下記の点にご注意ください。

- コードをツメに通してください。
- コードを束ねてフックに引っ掛けてください。

- カバー取り付け時、ケーブルをはさまないでください。

● 製品についてのお問い合わせは‥	
お客様相談センター 0120-303-909	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は 東日本相談室　TEL 043-351-1822　FAX 043-299-8280 西日本相談室　TEL 06-6792-1583　FAX 06-6792-5993
《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　(年末年始を除く)	

● 修理のご相談は‥	20ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/lcd-display/

(2006年12月現在)

シャープ株式会社

本　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

06M　DSC6
TINSJ1072MPZA ⑥